

新たに令和四年度が始まりました。本年度も愛知県埋蔵文化財センターではさまざまな事業を計画しております。

まず、発掘調査では、設楽ダムや鹿乗川改良工事に伴う調査など、全部で十一の事業で二一遺跡を対象に実施する予定です(下図を参照)。このうち愛知県新体育館整備等に伴う名城公園遺跡については、令和三年度から継続する形で二万七千平米の調査を進めています。これ以外二十遺跡については二万六九四〇平米の発掘調査を実施する予定です。その調査成果はホームページやツイッターなどで随時紹介し、現地状況の公開する地元説明会などでもできるかぎり開催したいと考えています。

一方、弥富にある調査センターでは、最近まで発掘調査を終えた遺跡の調査報告書を作成するために、遺跡の整理作業を実施しています。本年度は設楽ダム関連の万瀬遺跡をはじめ、全部で四つの事業で七遺跡を対象に進めてまいります。

さて、今年も広報・普及活動を多数計画しております。センターとしては四事業を実施する予定です。

◎春の埋蔵文化財展 今年も「やとみ新発見展二〇二二」と題して、四月四日から弥富の調査センターの二階にて、昨年度発掘調査した最新成果をご紹介します。

◎連続歴史講座 四月九日から五月二八日までの隔週土曜日の午前に歴史講座を計四回開講いたします。今年のテーマは『尾張中世城館の考古学』。最新の成果を踏まえ、尾張地域における中世のお城について考えます。

◎秋の埋蔵文化財展 八月二日から九月二六日まで「悠久の記憶ー設楽ダム関連遺跡発掘調査成果ー」と題して平成二六年度から調査を開始した設楽ダム関連遺跡の発掘調査成果を公開します。会場は奥三河郷土館の企画展示コーナー、入場は無料です。

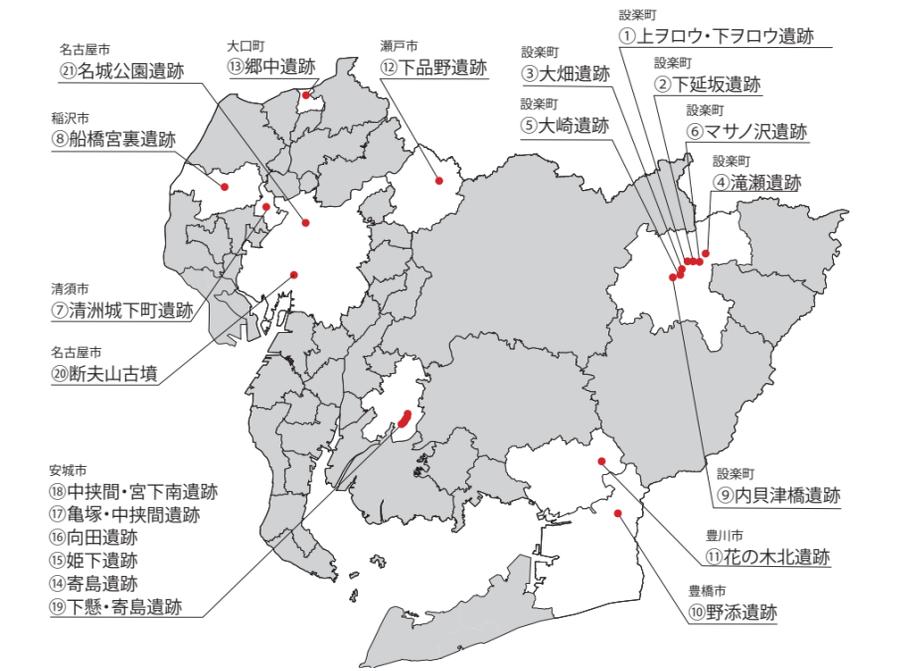
◎考古学セミナー「あいちの考古学二〇二二」 今年十月二二日・二三日に瑞穂区にある名古屋博物館にて開催します。愛知県内を中心とした考古学に関わる人たちが集まり、それぞれの最新情報を公開するイベントで、今回が第一回目となります。

◎企画展『あいちの発掘調査二〇二二』 一月二日から三月二二日まであいち朝日ミュージアムにて企画展を行います。昨年度に実施された愛知県下の発掘調査成果の速報を紹介していきます。

このほかに、年度末には「設楽ダム関連発掘調査成果報告会 新設楽発見伝9」を例年通り開催する予定です。

以上のように、本年度も積極的にさまざまな情報発信を進めてまいります。新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては予定が変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

令和4年度の調査予定遺跡



埋文桜ニュース

発行日：二〇二二年四月四日
発行所：公益財団法人愛知県教育・スポーツ振興財団
愛知県埋蔵文化財センター

〒498-0017 愛知県弥富市前ヶ須町野方 802-24
電話：0567-67-4163
ファックス：0567-67-3054
ホームページ：http://www.maibun.com/
メールアドレス：doki@maibun.com

連続歴史講座 今年も4回開催！
尾張中世城館の考古学

最新の発掘調査成果を中心に「尾張中世城館」に焦点をあてた講座

2022考古学の祭典
考古学セミナー
2022年10月22日(土) 23日(日)
名古屋博物館にて開催！

令和4年度 発掘調査成果報告会
新設楽発見伝9
令和5年3月開催予定！

春の特別公開 2022 戦国期の祈りと呪い

疫病の蔓延や自然災害、度重なる戦乱の中で戦国期の人々は何を願い、何に祈ったのでしょうか。遺跡からはその様子を垣間見ることができる遺物がいくつか見つかっています。



「急々如律令」など、陰陽道で災いや邪気を払う言葉や記号が記されています。疫病退散、病氣平癒などへの願いが込められていると思われます。

悪病退散の呪い 呪符木簡
岩倉城遺跡(岩倉市)
岩倉城遺跡本丸内の溝から多数の木製品とともに出土。表には「急々如律令」など、陰陽道で災いや邪気を払う言葉や記号が記されています。疫病退散、病氣平癒などへの願いが込められていると思われます。



無事の祈り 大鍬先 清洲城下町遺跡(清須市)
清須城本丸東側石垣の土台となる桐木付近から、刀形などとともに出土。これらの遺物は1586(天正14)年頃、清須城大改修にともなう石垣の構築に際し、工事の無事を祈って納められたものと思われます。



供養・死後安楽の願い 柿経
清洲城下町遺跡(清須市)
柿経は厚さ約1mmの薄い板に法華経を書き写したものです。清須城中堀すぐ内側の浅い土坑から約千点が重なった状態で見つかりました。追善供養や造塔の功德・写経の功德による死後の安楽を願ったものと思われます。

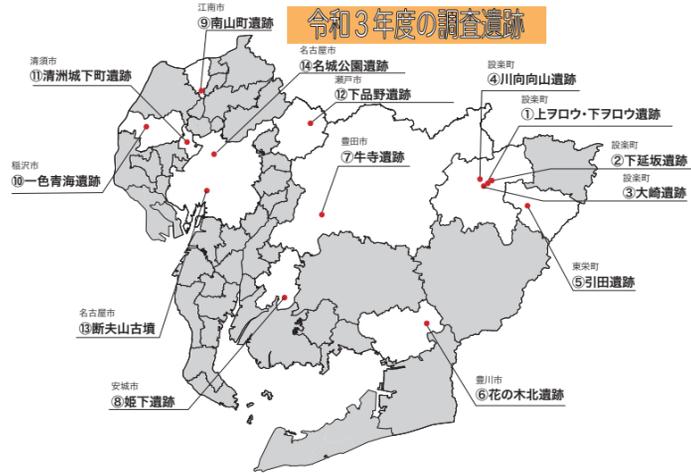


神への信仰 鉄釉狛犬
清洲城下町遺跡(清須市)
清洲城下町遺跡からは数点の狛犬が出土しています。今回は室町期のものと天正地震以前のものの2点を展示します。写真の狛犬は天正地震以前に掘られた廃棄土坑から出土しました。照りのある釉調で、瀬戸美濃窯大窯の製品と思われます。

| 令和4年度 イベント案内 | | どなたでもお楽しみできます！ | 大人の方を対象としています！ |
|--------------|-------------------------|---|----------------|
| 4 | 4(月)リニューアル 9(土)23(土) | 春の埋蔵文化財展『やとみ新発見展(しんはっけんでん)！2022』 & 春の特別公開 ☆昨年度の発掘調査成果について、今年度最初に展示解説を行います。また、特別にセレクトした逸品の遺物を特別公開します！ ☆4月9日・10日に緑日を開催します！ 予約不要・入場無料 | |
| 5 | 14(土)28(土) | 連続歴史講座『尾張中世城館の考古学』全4回 講座：要予約・参加費無料 ☆最新の発掘調査成果を踏まえ、「尾張中世城館」について専門の講師が解説します。 会場：愛知県埋蔵文化財調査センター 2階研修室 時間：- 午前10時30分~12時 ① 4月9日(土)「尾張中世城館について考える」 鈴木正貴 ② 4月23日(土)「瀬戸市・桑下城跡から考える」 武部真木 ③ 5月14日(土)「稲沢市・一色城跡から考える」 永井邦仁 ④ 5月28日(土)「清須市・清洲城下町遺跡から考える」 薩山誠一・鬼頭剛・鈴木正貴 | |
| 8・9 | 8月31日~9月26日 | 秋の埋蔵文化財展「悠久の記憶ー設楽ダム関連遺跡発掘調査成果展ー」 予約不要・入場無料 ☆奥三河郷土館にて、平成26年度から本格的に開始された設楽ダム関連発掘調査の成果について公開します。 会場：奥三河郷土館 == 詳細が決定次第 HPにておしらせします。 | |
| 10 | 22(土)23(日) | 2022年度『考古学セミナーあいちの考古学2022』 予約不要・参加費無料 ☆愛知県内と近隣の情報を手に入れることができるビックイベント！ 日時：10月22日(土)・23日(日) 会場：名古屋博物館 地下講堂(発表)・展示説明室(ポスターセッション) == 詳細が決定次第 HPにておしらせします。 | |
| 1 | 1月21日~3月12日 | 企画展「あいちの発掘調査2022」 予約不要・入場有料 ☆あいち朝日ミュージアムの委託事業として、2021年度に実施された県下の発掘調査成果の速報展を開催します。 == 詳細が決定次第 HPにておしらせします。 | |
| 3 | 3月上旬 | 設楽ダム関連発掘調査成果報告会『新設楽発見伝9』 予約不要・参加費無料 ☆令和4年度の設楽地区の発掘調査成果の報告会です。 == 詳細が決定次第 HPにておしらせします。 | |

令和3年度の発掘調査成果概要

当センターでは令和3年度に、尾張地域6遺跡、三河地域8遺跡の合計14箇所を調査して発掘調査を行いました。このうち12遺跡について調査成果の概要を紹介します。



戦国期の集落跡の一端を確認！

上ヲロウ・下ヲロウ遺跡 (北設楽郡設楽町)

上ヲロウ・下ヲロウ遺跡は境川右岸の緩斜面地に立地します。20年度の調査では町内初の弥生時代中期の集落が発見されました。21年度の調査では、縄文時代晩期〜弥生時代前期の竪穴建物跡や近世の柵列、炉跡と思われる集石遺構、戦国期〜近世の整地層が見つかりました。特に戦国期〜近世の遺構は、近代以降の造成の影響を受けず残存しており、町内では西地・東地遺跡以来となる、貴重な調査成果と言えます。



▶天目茶碗出土状況

集石遺構を持つ竪穴建物跡を確認！

下延坂遺跡 (北設楽郡設楽町)

下延坂遺跡は、境川右岸の河岸段丘上から山麓にかけての緩やかな斜面に立地しています。20年度の調査では、縄文時代晩期〜弥生時代前期の竪穴状遺構が複数見つかりました。21年度の調査では、土石流や近現代の整地による削平が多いものの、縄文時代中期後半の竪穴建物跡や縄文時代晩期の土器埋設遺構が見つかりました。特に縄文時代中期後半の竪穴建物跡では、建物内に集石遺構が確認されました。



▶竪穴建物内集石遺構

中世の水田関連遺構を確認！

大崎遺跡 (北設楽郡設楽町)

大崎遺跡は境川左岸、丘陵尾根の末端にある緩斜面地に位置しています。21年度の調査では、鎌倉時代ごろの水田関連遺構と縄文時代中期から弥生時代中期ごろにかけての集落跡が見つかりました。中世の水田関連遺構は調査区の広範囲に展開していました。小区画の水田関連遺構の事例は町内では初めてであり、非常に貴重な調査事例と言えます。また、集落跡では時代を違えて19棟の竪穴建物跡を確認しました。



▶水田関連遺構完掘状況

中世の掘立柱建物を発見！

引田遺跡 (北設楽郡東栄町)

引田遺跡は御殿川の左岸、南向する緩斜面の段丘上に立地しています。21年度の調査では、弥生時代と鎌倉時代の遺構・遺物が見つかりました。弥生時代では、弥生時代前期ごろの条痕文土器を伴う土坑が見つかりました。鎌倉時代では掘立柱建物のものと思われる土坑に伴って山茶碗が出土しました。



▶山茶碗出土状況

古墳造営に関わる集落を発見！

花の木北遺跡 (豊川市)

花の木北遺跡は本宮山の山麓から広がる、西原台地の縁辺に立地しています。谷を挟んだ台地上には20年度に調査を行なった、花の木古墳群・花の木遺跡があります。21年度の調査では、弥生時代中期後葉と古墳時代中期前半の遺構が見つかりました。特に古墳時代中期前半の竪穴建物跡は花の木古墳群造営に関わる集落と考えられ、集落と古墳の関係を把握する上で貴重な調査事例と言えます。



▶竪穴建物跡完掘状況

15・16世紀の遺構群を確認！

牛寺遺跡 (豊田市)

牛寺遺跡は矢作川の左岸、段丘の低位面に位置します。以前の調査では、縄文時代から中世までの幅広い時代の遺構・遺物が確認されています。21年度の調査では15・16世紀ごろの大型の掘立柱建物や区画を作るための溝、火葬を行うための施設が見つかりました。掘立柱建物と区画溝は火葬施設より古いと考えられ、当時の土地利用の変遷を解明する上で貴重な事例と言えます。



▶中世の掘立柱建物

古墳時代の集落跡の続きを発見！

姫下遺跡 (安城市)

姫下遺跡は姫小川古墳のある台地から少し下りた鹿乗川東岸の沖積地に立地しています。今年度の調査では、古墳時代前期の土器包含層と竪穴建物跡と思われる遺構の一部が見つかりました。今回確認された遺構は、これまでの調査で確認されていた集落跡の広がり南端付近にあたると思われられます。



▶遺物出土状況

古代の竪穴建物跡を確認！

南山町遺跡 (江南市)

南山町遺跡は犬山扇状地の扇中部の五条川右岸に立地します。今年度の調査では奈良時代と鎌倉時代の遺構・遺物が確認されました。なかでも8世紀前半頃と推定される方形の竪穴建物跡はカマドの位置も明瞭に判るもので、江南市域の集落遺跡として貴重な事例を加えることになりました。



▶古代の竪穴建物跡

集落跡の続きを確認！

一色青海遺跡 (稲沢市)

一色青海遺跡は三宅川と日光川に挟まれた沖積低地の旧河道南岸の自然堤防上に位置しています。今年度の調査では、調査区の東部から旧河道と大溝が、南西角から竪穴建物跡や土坑が見つかりました。特に旧河道と大溝はこれまでの調査にの続きであり、旧河道や大溝の全容を明らかにする上で良い成果となりました。



▶今年度調査区全景

戦国〜江戸時代の溝跡を確認！

清洲城下町遺跡 (清須市)

清洲城下町遺跡は五条川中流域に形成された自然堤防と後背湿地上に立地する古代から近世にかけての複合遺跡です。今年度の調査では、飛鳥時代〜近代にかけての遺構が確認されました。特に飛鳥時代から奈良時代の竪穴状土坑や戦国時代の溝は当時集落が展開していたことがわかる良い成果と言えます。



▶発見された溝跡

古代〜中世の集落の一端を確認！

下品野遺跡 (瀬戸市)

下品野遺跡は、品野盆地の南東部、水野川と鳥原川が合流する地点の南に広がる緩斜面地に位置しています。今年度の調査では、飛鳥時代〜近代にかけての遺構が確認されました。特に飛鳥時代から奈良時代の竪穴状土坑や戦国時代の溝は当時集落が展開していたことがわかる良い成果と言えます。



▶溝内出土の灰釉陶器

周濠の一部を発見！

断夫山古墳 (名古屋市中熱田区)

断夫山古墳は岬状に突出する熱田台地の南端西縁辺に立地する古墳時代後期前半の前方後円墳です。今年度の調査では、周濠やその外部施設の様子を明らかにするため、古墳の北側に2箇所トレンチを設定し、調査を行いました。その結果、周濠の一部と思われる箇所を確認しました。



▶後円部の周濠